



温室効果ガス排出量検証報告書

2023年6月27日

信越化学工業株式会社
代表取締役社長 齊藤 恭彦 殿

一般社団法人 日本化学工業協会
レスポンシブル・ケア検証センター長

尾崎 知日



■ 検証の目的

検証の目的は、国内連結会社及び海外連結会社を含む信越化学グループより報告された2022年度のスコープ1、2及びスコープ3(カテゴリー1、12)の温室効果ガス排出量についてレスポンシブル・ケア検証センターが検証を行い、第三者として意見を表明することにあります。

■ 検証の概要

- ① 検証は、スコープ1、2及びスコープ3(カテゴリー1、12)の範囲であり、限定的保証水準である。
- ② 検証の判断基準は、「ISO 14064-1:2018 及び ISO 14064-3:2019」であり、「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル Ver.4.9」等を算定の参考とした。
- ③ 検証は、信越化学工業株式会社及び同社の国内連結会社、海外連結会社、更に詳細確認サンプリング調査として信越化学工業株式会社武生工場について、温室効果ガス集計値及びそのインベントリーに関係する集計範囲、元データ、手順書に基づく集計方法及び算出手法、算出数値の正確性確認等について実施した。
2022年度とは、日本国内については、2022年4月1日から2023年3月31日までの期間、海外については、2022年1月1日より2022年12月31日までの期間である。
- ④ 調査・確認は、本社の責任者、工場の担当者・責任者からの資料の提示と説明、質疑応答により行った。

■ 検証の結果

2023年6月7日、9日及び13日に実施した検証の結果、同社グループのGHG排出量及び武生工場のデータ取扱い及び算出方法は適正であり、数値の正確性に関し何ら重大な誤りは認められませんでした。

■ 検証意見

温室効果ガス排出量算定に関し、正確性の向上に向けた改善がなされ、マニュアル、基準類のバージョンアップ及びデータ収集・確認体制の見直しが進められてより効率的且つ誤りの無い対応が行われていることを確認しました。

以上